

子ろばだより 北総教会 J C通信

2011.4.24 第 21 号

発行責任者 印西市草深天王脇 1139-7

日本基督教団千葉北総教会 牧師 大串眞



でんわ 0476(37)8732 牧師携帯 08031596561

私を支えた聖書のことば

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。(コヘレトの言葉 3 章 11 節)」

私たちは、人生の中でいろいろな困難や試練に出会います。病気やけがでやりたいことができなくなったり、入試で第一希望の学校に入れなかったり、大好きな人にフラれたり、親の仕事の都合で遠くに引っ越さなければならなかったり。そして、3 月の東日本大震災とそのあとの生活もたいへんな試練です。「どうして私がこんな目に遭わなければいけないの?」、「神様なんていないんじゃないの?」そうつぶやきたくなります。

でもそんな困難に出会うとき、いつも頭に浮かんでくるのが聖書のこのことばです。「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」今は、なぜこんな苦しい経験をしなければ

ならないのかわからないけど、いつか、その苦しみ、試練も神様が私のために計画したことだ、ということがわかってくと信じられるのです。

子どもの頃、父の仕事の都合で何度も転校しました。せっかくできた友だちと別れ、また新しい土地にいかねばならない。行った先では、転校生としていじめられることもありました。中学 2 年生の時には、医者 の誤診で虫垂炎を悪化させ、生死の境をさまよいました。2 度の大きな手術と 4 か月半の入院生活は、本当につらいものでした。でも、何年か経って、そのつらい経験をしたことが、自分を成長させてくれたことに気づきました。

千葉北総教会も、仮会堂を直してすぐに取り壊さなければならぬという試練を経験しました。教会の人たちは、とてもがっかりして落ち込みました。でも、その時も私の中には、「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」という確信がありました。その試練があったからこそ、今、私たちはこの美しい会堂が与えられたのです。

だから、困難なことに出会ったときには、このことばを思い出してほしいのです。「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」ね、気持ちが楽になるでしょう。

(T・M)

今月のいちおし

「小谷さんのジャージ」 O・K

震災から 1 ヶ月半、避難している方々は 175 万人、亡くなったり行方不明になっている方々は 2 万人強、そのことを考える度に私たちの心は痛みます。その中で誰も言うのが、子どもたち(中高生を含めて)の笑顔、毎日の暮らしのその姿、それが生きていく希望につながり、力になっていくということです。

朝日新聞に「小谷」の縫いとりがあるジャージを掲げたおばさんが、微笑んだ写真が載っていました。「ジャージの上下に学校の指定なのか『小谷』と刺しゅうがしてある。なにげなく脱いだ時に、裏側のタグに「頑張って生きて」書いてあることに気がついた。支援物資でどんな高い物ももらうよりもうれしかった。『小谷さん』に励まされて生きているようなもの、新米ができたなら、お礼に送りたいです。」明るいおばさんの笑顔、これが今月の一押しです。

ジュニアチャーチ

毎週日曜日 10:00~11:00

一ヶ月に一度は 9:20 から楽しい行事をします。また連絡しますネ!